"はたかぜ"に鼓舞された炭婦協 結成や首切反対 闘争

昭和廿一年二月三日は、わが三鉱労組の誕生日だ。同年同月に時を同じくして入社し、以来組合と共に歩き、転び、走り、喜びや悲しみを十年間一緒にして来た人たちの感がいはまたひとしお格別なものがあろう。編集部では、この中から六名の人たちに各支部から出席していただき、これに主婦会の新旧会長を加え政治局の浦川氏の司会で、組合十周年を記念し、一日、本部で座談会を行った。

組合も体験も十年目

二座談會二

浦川さん

司会　歴史とは過去を学び、将来によりよく生きることである、といわれています。組合が産声を挙げてから十年、この間をふりかえってみるとき、いろいろな想い出があるのこと思います。では、結成時の想い出をひとつどうか……。

磯本　私は廿一年二月六日に入社しました。何となくばく然としてGHQからの天下り的な命令で組合が結成されたようで、組合結成をそう痛切に感じませんでした当時五円の組合費をとられ、高いなアという記憶があります。

磯本さん

三池労組の十周年記念に際して、組合員、家族のみなさま方に一言お祝い申上げます。

終戦直後のあの混乱の中で、ともかくにも労働組合なるものを結成し、インフレのあとを追う激しい闘争に突入して行ったところを思いますと、現在の状態は、一応の落着きを取り戻したように考えられます。

しかし、これは申すまでもなくいことですが、決して私たち労働者の希望する政治が実現されているからではありません。

それどころか、保守党すなわち資本主義を押し進める側の一本化が行われ、私たちにはさらに大きな圧力が加えられようとさえ言われています。

もつともアメリカの尻を追う日本の保守政権は、平和を望み生活を安定させようとする多くの国々とは全く逆なコースを進んでいるというべきで、歴史の逆行は、決して保守反動の独善を許さないと断言できます。

ちようどこのことは、私たち労働者の反撃により、日本の企業の中でも、経営者の独善が許されなくなったのと同様であります。

私たちは、お互いの生活の中心が、やはり組合という組織であることを再認識し、まず自分らの団結をもつと強化して、労働者は解放されるべきである、という歴史的な希望を実現させる努力をさらに続けたい。

三鉱連としても、今年は、長期計画闘争の成果の実施や身分制度闘争などが予定されますがこれらの闘争に成果をあげるためにも、新賃金闘争の結果をよりよくすることが大切です。

三鉱連はもとより炭労傘下の最有力組織たる三池労組の十周年記念にあたり、一層の奮起を敢て御挨拶申上げ、御挨拶といたします。

御挨拶

三鉱連執行委員長　畠山義之助

森脇さん

司会　ホー、早かったですネ。

大町　若いときに階級運動に少し手を出しましてネ、委員になり三月に第一回ストがあった富浦では勝立の議堂に三千人位集つた。

大町さん

大町　私は二月八日に入社、十二日には委員になりました。

司会　産業報国会というのがありました。共愛会ですネ。

大町　矢張り共愛会のような流れがそのまま組合の形に変つたんじゃないかと感じましたネ。ストの中に相当私は反感をもち、執行委員や委員とも激論をし、すぐ委員をやめた。何とかして面白く、生活のためやつて行かねばと思い、現場討論会など盛んにやりました。廿三年の改選の時には組合変りました。

奥さん達を操っていた会社

司会　関心というよりも、何とかして喰つて行かねばならぬ。当時はインフレでもあり、生活のことで頭が一杯だったということはなかったですか。

野口　私は兵隊に行く前は馬車曳きをしていました。廿一年二月八日に入社したが、とにかくガマダシさえすれば思つて、ガムシャラに働きました。いま考えると点数稼ぎですネ（笑声）本当にやらねばならないと思つたのは仕闘つておつた。その情勢のため、組合員の要求を集約していくことが大切だと思う。

野口さん

司会　大町さんがいつたように共愛会から産報に切替わつて、今の産報でいえば御用組合が出来上じて政治的に強力に要請して加配米をやれ、砂糖、酒の配給をやれと点数稼ぎですネ（笑声）本当にやらねばならないと思つたのは仕闘つておつた。その情勢のため、組合員の要求を集約していくことが大切だと思う。

惹かれたマル炭の魅力

司会　見ざる言わざる聞かざるという運動をやつた。政府は増産とリンクする形で来ておつた。主食の配給ですネ、当時、占領軍、政府、会社がグルになり、組合がスト破りをやると配給を止めるというて脅迫しましたネ。

秋吉　丸炭と住宅に引かれたですネ。それがズルズルいまになつた。（笑声）

松浦　住宅と米、これは炭鉱では唯一の魅力だったですネ。それが大きな力になつた。

司会　それでは、次に幹部闘争的な行き方が大衆闘争へどういうふうに変つていつたかということを皆さんたちはどういうふうに見られますか、ひとつ……。

森脇　企闘を勝ち抜くまでに組合員の意識が上つた。単的にいつて会社の労務政策に対する反抗だと思います。レッドパージで敗れたが、何とかならないものかという気がした。

司会　見ざる言わざる聞かざるという運動をやつた。政府は増産とリンクする形で来ておつた。主食の配給ですネ、当時、占領軍、政府、会社がグルになり、組合がスト破りをやると配給を止めるというて脅迫しましたネ。

秋吉　丸炭と住宅に引かれたですネ。それがズルズルいまになつた。（笑声）

松浦　住宅と米、これは炭鉱では唯一の魅力だったですネ。それが大きな力になつた。

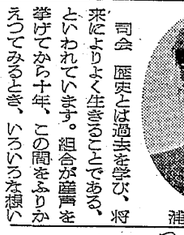
司会　それでは、次に幹部闘争的な行き方が大衆闘争へどういうふうに変つていつたかということを皆さんたちはどういうふうに見られますか、ひとつ……。

森脇　企闘を勝ち抜くまでに組合員の意識が上つた。単的にいつて会社の労務政策に対する反抗だと思います。レッドパージで敗れたが、何とかならないものかという気がした。

出席者〔敬称略〕

機関支部　磯本幸人
四山支部　松浦繁末
鑛務支部　廣松信夫
三川支部　森脇隆
宮浦支部　大町三郎
本所支部　野口正喜
主婦会長　秋吉米子
前〃　五島頼子
司会・政治局　浦川守

（発言順）


松浦さん

広松　当時は右も左も判らないようでした。

松浦　あの時の印象としてビケ要員にアンチャンたちがいた。無関心ながらも非常に印象に残っている。その後すぐあの連中が立消えした。組合の組織の力には連中の暴力は何にもならぬという考えから会社が解雇した。そういう風にして移り変りを感じた。組合の力が少しずつ発展してきた、これが一番印象に残っている。

司会　戦時中から引続き出勤奨励などからあの連中を置つていたのは事実ですネ。酒の配給があれば酒樽ぐるみ取る、配給どころではなかつた。硝子は破る、万田などは特に困つていた。身分排除の問題が出て来て、暴力追放というのもやりましたネ。

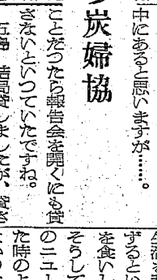
「森脇　十年前を想起すると、組合結成のとき、私は採炭にいた。採炭の先山等が非民主的に人数を割当てていた。こんな形で、初めは組合が出来ていた。今のように委員会報告を現場でするなんて予想もしていなかつた。廿一年ですか三川だけが早くストに入つた。私はあの当時のデモに行き、他の山に行つたが、白眼視されるような気がした。

この分派行動が最終的には闘争であるという論議が下から盛上つて来た。三川だけでは要求はとれないということを私の部内でも相当論議した。そして部内の努力家

陣痛の中から炭婦協

五島　私たちは一番嬉しかつたことだつたら報告会を開くにも貸さないといつていたですね。

五島　結局貸しましたが、貸ぎきつがれていつた。囚人の使役はげんに大正末期まで行われていたし、囚人を減らした分は一種の懲罰地労働者である与論嘲弄されて行き、今の三鉱労組が築き上げられたことでしょうネ。こんなやり方は、基本的にはそのまま引いて頑張しないこのようなやり方は、基本的にはそのまま引いて頑張しないこのようなやり方は、基本的にはそのまま引いて頑張しないこのようなやり方は、基本的にはそのまま引


五島さん

司会　ニュース・カーは随分活躍しましたね。

秋吉　本当にあのときはうれしかつた。炭婦協に加入するかどうかは、少しばくらついていた人もあつたが、最後のハラをニュースカーで定めた人が多かつた。

野口　口惜しかつたことは、六月ストの最後のとき、職員の人たちが裏切つたというんですか、入坑し三交替関係に全部入つて来たですものね。

司会　就業したですね。

五島　企業整備が白紙撤回になつたときは泣きました。勧告受諾の通配があつたとき、そしてたとこの奥さんたちが飛んで来た。万感交々だつたんですね。

秋吉さん

想出は總て企斗に

松浦　企闘と炭婦協結成のとき、うれしかつたこと、口惜しかつたことを全部含んでいるですよ。

野口　企闘のとき、勝立事件で引っ張られたときに本当に理論的に攻撃されたのと同様であります。

磯本　うれしかつたことは、三池に加入したときに、農林省の増配があつたことと、そしてたとこの奥さんたちが飛んで来た。万感交々だつたんですね。

磯本さん

司会　ニュース・カーは随分活躍しましたね。

秋吉　本当にあのときはうれしかつた。炭婦協に加入するかどうかは、少しばくらついていた人もあつたが、最後のハラをニュースカーで定めた人が多かつた。

野口　口惜しかつたことは、六月ストの最後のとき、職員の人たちが裏切つたというんですか、入坑し三交替関係に全部入つて来たですものね。

司会　就業したですね。

五島　企業整備が白紙撤回になつたときは泣きました。勧告受諾の通配があつたとき、そしてたとこの奥さんたちが飛んで来た。万感交々だつたんですね。

廣松さん

広松　矢張り企闘ですね、それ、それから数年の市会選挙で全員当選したとき。

大町　私も市会議員選挙ですね。会社を休んで十日ばかり一生懸命やつた。本当にうれしかつた。

森脇　思い出になることは、企闘の問題ですね。首切り闘争は勝つてないというのが通説だつたのを見事勝ち抜いたことです。

司会　最後に、今後の組合に希望するものを一言。そして今後この人は編成と思われるが、日ごろいろいろと考えますので、そういう点から固くして行かなければならないと考えますので、そういう点から考えを聞かせて下さい。

大町　まだ相当不服をもつている人もおります。デモに行かんなかつたり、基本的にはそのまま引きつがれていつた。囚人の使役はげんに大正末期まで行われていたし、囚人を減らした分は一種の懲罰地労働者である与論嘲弄されて行き、今の三鉱労組が築き上げられたことでしょうネ。こんなやり方は、基本的にはそのまま引いて頑張しないこのようなやり方は、基本的にはそのまま引きつがれていつた。囚人の使役はげんに大正末期まで行われていたし、囚人を減らした分は一種の懲罰地労働者である与論嘲弄されて行き、今の三鉱労組が築き上げられたことでしょうネ。こんなやり方は、基本的にはそのまま引いて頑張しないこのようなやり方は、基本的にはそのまま引きつがれていつた。囚人の使役はげんに大正末期まで行われていたし、囚人を減らした分は一種の懲罰地労働者である与論嘲弄されて行き、今の三鉱労組が築き上げられたことでしょうネ。こんなやり方は、基本的にはそのまま引

森脇さん

下からのナマの聲に耳せよ

森脇　二つの要望があります。一つは幹部、一つは組合にです。幹部とは個人をいうのではありません、幹部になるということが自己保身の策ではならない、過去の例が立身出世の踏台で職員になつている人も多い。これは公のマイナスです、自分も解放して大衆とともにあるという考えで指導性を発揮して下さい、組合運動に対しては機構が多いので官僚化されるような気がするから検討する余地あると思います。

司会　結局下からのナマの声を中央が十分につかみ得るようにせよということですネ

松浦　組合員全体の思想のレベルを揃えること、それと組合役員というのは日常の私生活が執行部言葉で「みいけ」を書いて下さいと指導者

五島さん

ね。

広松　矢張り企闘ですね、それから数年の市会選挙で全員当選したとき。

大町　私も市会議員選挙ですね。会社を休んで十日ばかり一生懸命やつた。本当にうれしかつた。

森脇　思い出になることは、企闘の問題ですね。首切り闘争は勝つてないというのが通説だつたのを見事勝ち抜いたことです。

司会　最後に、今後の組合に希望するものを一言。そして今後この人は編成と思われるが、日ごろいろいろと考えますので、そういう点から固くして行かなければならないと考えますので、そういう点から考えを聞かせて下さい。

大町　まだ相当不服をもつている人もおります。デモに行かんなかつたり、基本的にはそのまま引きつがれていつた。囚人の使役はげんに大正末期まで行われていたし、囚人を減らした分は一種の懲罰地労働者である与論嘲弄されて行き、今の三鉱労組が築き上げられたことでしょうネ。こんなやり方は、基本的にはそのまま引いて頑張しないこのようなやり方は、基本的にはそのまま引きつがれていつた。囚人の使役はげんに大正末期まで行われていたし、囚人を減らした分は一種の懲罰地労働者である与論嘲弄されて行き、今の三鉱労組が築き上げられたことでしょうネ。こんなやり方は、基本的にはそのまま引いて頑張しないこのようなやり方は、基本的にはそのまま引きつがれていつた。囚人の使役はげんに大正末期まで行われていたし、囚人を減らした分は一種の懲罰地労働者である与論嘲弄されて行き、今の三鉱労組が築き上げられたことでしょうネ。こんなやり方は、基本的にはそのまま引

秋吉さん

戦前における闘いの歴史

湯村武人

「大牟田市三井三池鉱業所万田炭坑（熊本県玉名郡荒尾村）採炭夫は去る一日発表の増給に不満を抱き、尚選炭方法改革にして石炭十貫に対し約四割方の減少となり殊に売店場の日用品の価格を引揚げたるは以前よりも却つて坑夫側に不利益となりたりとて奇々怪怪なる思しつゝありしが、遂に四日午後九時四十分丙組採炭夫五百余名が甲組五百余名と交替せんとする一刹那暴行を始め、乙組五百余名がこれが中堅となり相呼応して一時に勃発し、鶴嘴を以て安全燈を片端より破壊し、一隊は売店場に殺到し暴行放火したるも民家類焼の慮ありとて之を消し止めて破壊し、在り合う酒樽の鏡を打ち破り冷酒を呷り、果ては冷酒に顔を洗ひ足を洗ひ、酒油樽は悉く之を破壊し、白米、木綿切れ其他の日用品大部分を焼毒し去り、それより炭坑納屋事務所、坑夫繰入所、同事務所、運炭機械場の機械を破壊し、一千余名の坑夫の女房連まで加わりて喚呼し、馬小屋、舎宅、巡査派出所等を襲撃し、悉く窓硝子を破壊して高所にて瓦礫を投じ運炭車の如きは既所に突き飛ばし乱暴の極に達したり。急報に接し午後十時半頃大牟田警察署より真鍋警部、塚本部長一行十二名駆け付鎮撫に努めたるも、酒気を帯び猛り狂う暴徒等は直に警官隊を包囲し、真鍋警部の制止を聞かざるのみか、警官隊に投石し、遂に軍隊の出動を要請し、歩兵四十七連隊の兵士一個小隊が戦時服装で急行し、研ぎ澄ました銃剣をかざきつけて解散を命じた。坑夫側はひるまずダイナマイトを投げつけて応戦したので、遂に軍隊側の実弾発射となり坑夫数十名の犠牲者が出た。翌三十一日には直方、飯塚方面の不穏が伝えられ、同じく軍隊二個中隊が警戒行軍することによって辛うじて事無きをえたが、二十四日には遂に唐津炭坑に暴動が起り、これまた軍隊によるねば鎮圧できなかつた。さらに二十八日には新原炭坑、二十日には二瀬炭坑、三十日には佐賀県飛火山で岩屋、芦崎、相知などの諸炭坑に暴動が続発し、佐賀連隊の出動によつて鎮圧された。

このような情勢の中に大牟田は表面はとも角も無事で、新聞紙は「大牟田は別天地」という記事を掲げていた。けれども大牟田だけが別天地である筈はない。二十六日に製煙所亜鉛職工六十名が飛びかい不穏文書が市内各地の電柱や壁に貼られるようになつた。

事実労働者たちが穏やかな態度を維持していたのは決して警察や軍隊の力を恐れたからではなかつた。彼らはたゞ会社側の約束した定期増俸と臨時手当の結果をみようとしただけである。彼らは会社側がすんで彼らの苦しい生活を理解した態度に出てくれるものと期待し、軽はずみな行動に出ることを控めていたのである。けれどもいよいよ九月一日になつて会社側の発表したものは、彼らの切実な要求とは余りにも距たつたものであつた。そこで、まづ電化のカーバイト工場労働者が即日ストライキの挙に出たのを皮切りに、二日の勝立坑採炭夫というぐゝいに、続々と集会ないしストライキが敢行された。けれども、このうち勝立坑採炭夫たちが従来の二交替制を三交替制に変えさせることに成功したほかは、いずれも警察署長の慰撫説得によつて次第に一応は鎮静していつた。大牟田はやはり無事かと思われた。万田坑空前の大暴動が突如として勃発したのはこの時である。

大正七年九月六日付福岡日々新聞は三段抜きの大活字で「万田炭坑暴動」を報じ次のように述べている——

一、黒煙日々に漲らぎて
のぼる煙の力なく
汽笛の音もいと低く
振向く人はほゝ笑みぬ
二、時は大正十三年の
六月初めの頃なれや
吹く旗風にひるがえる
吾が同胞の行商隊

（筆者は九大助教授）

戦前における闘いの歴史

湯村武人

「大牟田市三井三池鉱業所万田炭坑（熊本県玉名郡荒尾村）採炭夫は去る一日発表の増給に不満を抱き、尚選炭方法改革にして石炭十貫に対し約四割方の減少となり殊に売店場の日用品の価格を引揚げたるは以前よりも却つて坑夫側に不利益となりたりとて奇々怪怪なる思しつゝありしが、遂に四日午後九時四十分丙組採炭夫五百余名が甲組五百余名と交替せんとする一刹那暴行を始め、乙組五百余名がこれが中堅となり相呼応して一時に勃発し、鶴嘴を以て安全燈を片端より破壊し、一隊は売店場に殺到し暴行放火したるも民家類焼の慮ありとて之を消し止めて破壊し、在り合う酒樽の鏡を打ち破り冷酒を呷り、果ては冷酒に顔を洗ひ足を洗ひ、酒油樽は悉く之を破壊し、白米、木綿切れ其他の日用品大部分を焼毒し去り、それより炭坑納屋事務所、坑夫繰入所、同事務所、運炭機械場の機械を破壊し、一千余名の坑夫の女房連まで加わりて喚呼し、馬小屋、舎宅、巡査派出所等を襲撃し、悉く窓硝子を破壊して高所にて瓦礫を投じ運炭車の如きは既所に突き飛ばし乱暴の極に達したり。急報に接し午後十時半頃大牟田警察署より真鍋警部、塚本部長一行十二名駆け付鎮撫に努めたるも、酒気を帯び猛り狂う暴徒等は直に警官隊を包囲し、真鍋警部の制止を聞かざるのみか、警官隊に投石し、遂に軍隊の出動を要請し、歩兵四十七連隊の兵士一個小隊が戦時服装で急行し、研ぎ澄ました銃剣をかざきつけて解散を命じた。坑夫側はひるまずダイナマイトを投げつけて応戦したので、遂に軍隊側の実弾発射となり坑夫数十名の犠牲者が出た。翌三十一日には直方、飯塚方面の不穏が伝えられ、同じく軍隊二個中隊が警戒行軍することによって辛うじて事無きをえたが、二十四日には遂に唐津炭坑に暴動が起り、これまた軍隊によるねば鎮圧できなかつた。さらに二十八日には新原炭坑、二十日には二瀬炭坑、三十日には佐賀県飛火山で岩屋、芦崎、相知などの諸炭坑に暴動が続発し、佐賀連隊の出動によつて鎮圧された。

このような情勢の中に大牟田は表面はとも角も無事で、新聞紙は「大牟田は別天地」という記事を掲げていた。けれども大牟田だけが別天地である筈はない。二十六日に製煙所亜鉛職工六十名が飛びかい不穏文書が市内各地の電柱や壁に貼られるようになつた。

事実労働者たちが穏やかな態度を維持していたのは決して警察や軍隊の力を恐れたからではなかつた。彼らはたゞ会社側の約束した定期増俸と臨時手当の結果をみようとしただけである。彼らは会社側がすんで彼らの苦しい生活を理解した態度に出てくれるものと期待し、軽はずみな行動に出ることを控めていたのである。けれどもいよいよ九月一日になつて会社側の発表したものは、彼らの切実な要求とは余りにも距たつたものであつた。そこで、まづ電化のカーバイト工場労働者が即日ストライキの挙に出たのを皮切りに、二日の勝立坑採炭夫というぐゝいに、続々と集会ないしストライキが敢行された。けれども、このうち勝立坑採炭夫たちが従来の二交替制を三交替制に変えさせることに成功したほかは、いずれも警察署長の慰撫説得によつて次第に一応は鎮静していつた。大牟田はやはり無事かと思われた。万田坑空前の大暴動が突如として勃発したのはこの時である。

大正七年九月六日付福岡日々新聞は三段抜きの大活字で「万田炭坑暴動」を報じ次のように述べている——

一、黒煙日々に漲らぎて
のぼる煙の力なく
汽笛の音もいと低く
振向く人はほゝ笑みぬ
二、時は大正十三年の
六月初めの頃なれや
吹く旗風にひるがえる
吾が同胞の行商隊

（筆者は九大助教授）

アンケート

岡崎三郎

社会主義協会

一、日本の平和運動について御意見をお聞かせ下さい。

二、現代の労働運動はどうあるべきだとお考えになりますか。

三、炭鉱労働者の生活をどう御覧になつていますか。

右のようなテーマで各界の知名士にアンケートを寄りましたところ次のような応答がそれぞれ寄せられました。

一、平和擁護擁護、軍備（自衛隊）拡張反対を当面の目標とし、二、低くても広く、一人々々の組合員の要求を集約していくことが大切だと思う。

三、何よりもまず、書をなげうつて長屋、あれは人間が住む家ではない。あんな処に人をつめこんでおくのは言語同断です。

作家　邦枝完二

一、平和運動は、文字通り純粋の平和運動でありたい。おのれの政治的立場を有利にせんための掛引者なぞ、一人でもあつたらまつたく不可也。

二、労働者諸君の腹から出た、混り気のないものである事を望む。

三、実際には知つていません。従つて答えられないのを残念に思います。

漫談家　徳川夢聲

一、真実の平和運動を望みます。

二、人類の平和ということを根本において推進して下さい。

三、全くひどい生活があるようです。是非改善すべきです。

作家　井上友一郎

一、二、のお訊ねについては、到底一言には書き切れません。

三、炭鉱労務者の生活については、あらゆる面で、もつと社会的な関心が強力に寄せられるべきだと思います。現状では、あまりにひどく、限度を超えて甚だしいと思うからです。

市内本町　清水屋呉服店

一、については、難しいことは判りません。たゞ平和を愛するという気持は誰でも願つていることなのですから、イデオロギーとか政治とかで区別することなくどんなことであれ祖国を愛する発言、運動は労働組合が取上げて、のばしてやるべきだと思います。

二、については、大牟田の場合にハツキリしていると思いますが保守とか革新だというみかたですべてをみることなく、まだ遅れている国民（組織のない労働者、農民、商人）を大きな温い気持で語合い、引上げて行く先頭に立つてもらいたいと思います。スローガン張つた形式だけでなく。

三、については、苦しいだろうということはわかつています。何故ならば私達商人の販売力が、より中小業者の倒産等でもわかります。然し一般的にはたゞそういうことがわかつているだけで直接響いては来てないようです。それで例えば大牟田の各地域商店街へ組合員の人達との懇談会等を定期的に催す等されゝば、この事はまたハツキリみんなにもわかるのじゃないかとも思います。